庁舎建設について

1　庁舎建設工事における地域貢献

庁舎建設工事における地元企業の活用状況（市内業者への工事下請け及び資材購入等の発注）及び建設工事以外の請負業者による地域への貢献は次のとおりです。

(1) 工事金額に占める地元活用金額と割合

区　分		1次下請け分まで計算した場合	【参考】
工事金額		13,982,391,960 円	13,982,391,960 円
地元活用金額	うち1次下請け分	1,854,215,520	1,854,215,520
	〃 2次下請け分	－	192,241,080
	〃 3次下請け分	－	0
	資材費（直接取引分）	791,641,817	791,641,817
	その他の発注経費	113,475,504	113,475,504
	合　計	2,759,332,841	2,951,573,921
工事金額に占める割合		19.73 %	21.11 %

(2) その他の地域貢献

○建築系学科の学生及び呉市技術職員を対象とした技術研修会をそれぞれ実施
○市内在住者を事務員として雇用
○工事現場の仮囲いに安全ポスター入選作品を掲載
○下請け業者に対し市内宿泊施設等をあっせん　　など

【参考】
総合評価方式を採用した町田市の新庁舎建設における地元活用の算出方法を，呉市の庁舎建設工事に当てはめた場合

2　旧庁舎解体・雨水貯留施設の概要

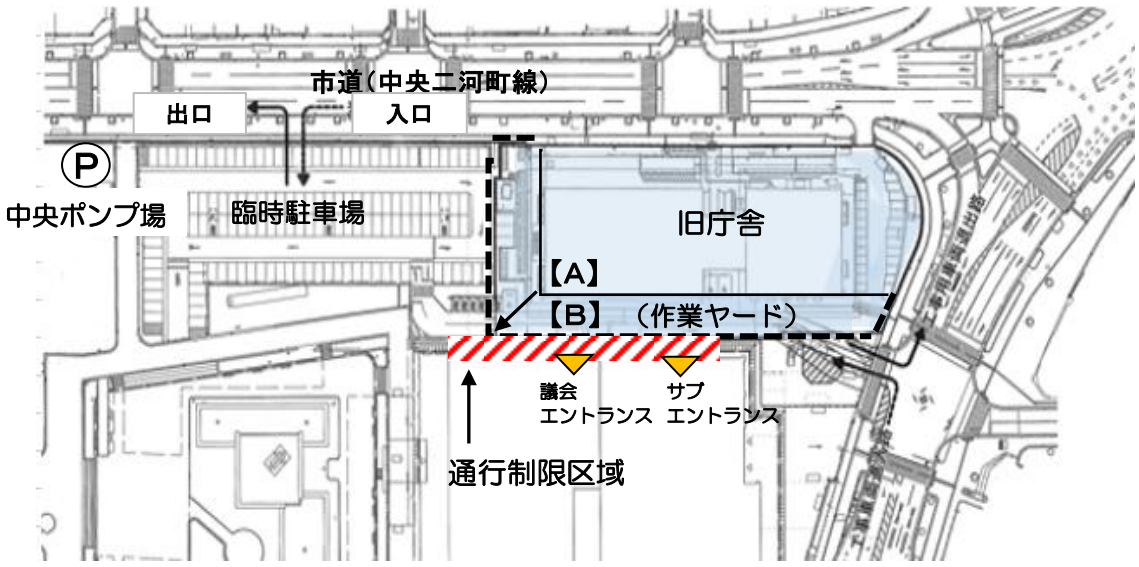
旧庁舎については，じゅう器類の搬出等の作業の後，平成２８年度から解体工事に着手します。
また，旧庁舎の解体に併せ，地下に雨水貯留槽を整備することにより，第一次緊急輸送道路に指定されている北側市道（中央二河町線）の大雨時における浸水対策を図り，防災拠点としての機能強化に努めます。
なお，解体工事に先行して，旧庁舎の防犯対策等のため，今年度内に建物の周囲（【Ａ】の範囲）に仮囲いを設置します。また旧庁舎東側にある植栽帯については，仮囲い設置の支障となるため撤去します。

【概要】

(1) 旧庁舎の解体

○　解体工事期間中には，破砕したコンクリート片などが落下する危惧があることから，工事期間中の安全性を最優先に考え，次の対応を行います。

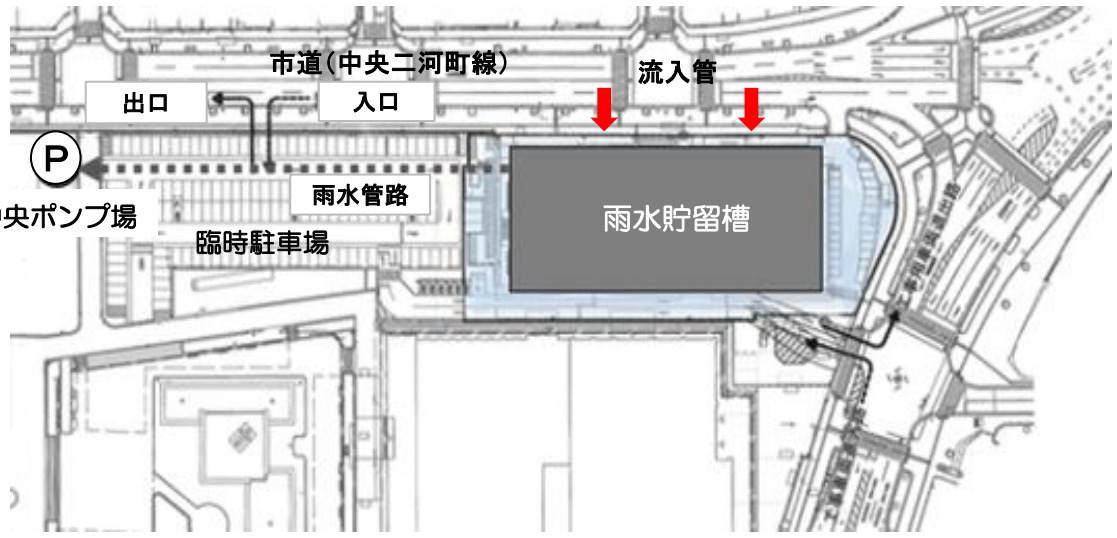
・作業ヤードを確保するため，仮囲いの位置を【Ａ】から【Ｂ】に変更
・臨時駐車場の出入口を新たに北側に設置
・議会エントランス・サブエントランス及びその出入口に通じる通路の通行を一時的に制限



(2) 雨水貯留施設の整備

○　旧庁舎の上部を解体後，地下部分の内部に雨水貯留槽を整備します。
市道（中央二河町線）にたまった雨水を集水するため，北側に流入管を設けます。
貯留した雨水は，中央ポンプ場を経由して排水するため，雨水貯留槽とつなぐ雨水管路を臨時駐車場の地下に設けます。

項　目	数　量
貯留量	約5,300㎥
面積	約1,900㎡
深さ	最深部で約４m
構造	鉄筋コンクリート造
雨水管路の延長	約110m



【今後のスケジュール】

	平成28年度										平成29年度												平成30年度											
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
旧庁舎解体及び雨水貯留施設整備		←																						→										
臨時駐車場（北側出入口設置）		←	→																															
通行制限期間				←										→																				
流入管整備																													←					→
来庁者駐車場整備																								←					→					